

嘉麻市の歴史・文化遺産を活かした文化観光まちづくり構想について

《大隈小学校・嘉穂庁舎跡地利活用の方向性》

総合政策課

地域整備本部会議

令和6年8月20日

1. 今までの経過

旧大隈小学校・嘉穂庁舎跡地に係る地域整備として、
『大隈体育館改修及び大隈小学校・嘉穂庁舎跡地利活用基本計画』策定
(令和2年10月)

H24.5～H25.3	嘉穂小学校閉校準備委員会
H26.8～H28.12	大隈小学校跡地利活用委員会
H29.6～H29.12	嘉穂地域整備協議会
R2.5～R2.6	パブリックコメント
R2.7	地元意見交換会

大隈体育館の改修の方向性

○地域活性化拠点となる多目的施設

- ・アリーナの多目的活用のための改修
- ・災害時の避難所を想定したトイレ改修
- ・大規模災害時の避難所運営等を想定した調理室を新設

○黒田武士をテーマとした大隈町周辺の街並みを活かした展示施設

- ・歴史文化財の展示室設置
- ・防火区画の変更（防火壁の設置）
- ・国指定重要文化財華紋刺縫陣羽織の保管庫設置

2. 大隈体育館改修に係る課題

課題1：築30年を超える体育館を重要文化財の保管等のための耐火構造等に改修するため、事業費が想定約2倍に増加

課題2：大隈体育館の耐用年数が今後、約10年～20年で迎えることが想定され、その期間のための投資となる。

課題3：複合的な機能を想定した改修内容となるため、それぞれの機能の特徴が発揮されにくい。

★ 議会からの指摘

- 改修後の施設が複合的な機能を併せ持つことに対する問題点
- 市全体の文化財の保管等の集約も含めて、市の『歴史・文化を活かした観光のまちづくり』といった、長期的なビジョンの中で検討すべきとの指摘

大隈小学校・嘉穂庁舎跡地の利活用については、市の歴史・文化を活かしたまちづくりの中・長期的なビジョンとなる『歴史・文化遺産を活かした文化観光のまちづくり構想』の内容に基づき再検討

3. 歴史・文化遺産を活かした文化観光まちづくり構想の検討（現在の状況）

令和6年3月 市長・副市長・教育長に構想の概要・意義等について説明

令和6年5月 『歴史・文化・観光のまちづくりプロジェクトチーム』を設置
(総合政策課、産業振興課、生涯学習課、交通政策課の若手職員で構成)

令和6年7月 プロジェクトチームの上部組織に『歴史・文化・観光のまちづくり専門部会』を設置 (副市長をトップに関係課長で構成)

**『歴史・文化遺産を活かした文化観光
まちづくり構想』の検討に着手**

4. 歴史・文化・観光のまちづくりプロジェクトチームの現在までの取組

会議の開催

第1回
5月20日

1. プロジェクトチームの経緯・目的について
2. プロジェクトチームの進め方について
3. 嘉麻市の歴史・文化遺産を生かした文化観光まちづくりビジョンについて

第2回
6月21日

1. 歴史・文化財・観光資源の説明
2. 現地踏査の行先について

現地踏査

1日目
7月25日







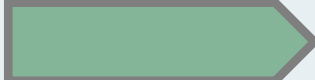


桑野の石橋 → 首淵の滝 → 小野谷の石造警鐘台
→ 大里酒造 → sleepy café nico → 麟翁寺
→ 寒北斗酒造 → 梅ヶ谷酒造 → 嘉穂ふるさと交流館

2日目
8月1日

大隈城跡(益富城跡) → 須賀神社(絵馬)
→ 碓井郷土館



歴史・文化・観光のまちづくりプロジェクトチームスケジュール

内容	2024年度											
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
ビジョン(案)説明												
スケジュール確認												
歴史文化資産洗い出し												
現地踏査												
アイデア集約												
構想検討												
庁内役割分担検討												
財源調査												
専門部会												
議会報告						